

平成26年度における協議会構成機関の 自動車環境対策の進捗状況について

計画の目標達成に向けた主な自動車環境対策

- 1 最新規制適合車への転換促進等による自動車単体規制の推進
- 2 車種規制の適正かつ確実な実施、流入車規制の推進
- 3 エコカーの普及促進
- 4 エコドライブの推進
- 5 輸送効率の向上等の取組促進による交通需要の調整・低減
- 6 バイパスの整備、交差点改良等の交通流対策
- 7 環境に配慮した自動車利用についての普及啓発・環境教育

1. 自動車単体規制の推進、2. 車種規制の実施等

■ 平成26年度における実施状況

1. 自動車単体規制の推進

- ・ 最新規制適合車への転換促進（近畿運輸局、府）
- ・ 適正点検整備研修会（近畿運輸局：H26 131回）
- ・ 自動車排出ガス等街頭検査の実施
（近畿運輸局、大阪自動車環境対策推進会議、大阪市等：H26 16回）

普通貨物車の新長期規制以上の適合車の割合 H26:47%、うちポスト新長期規制適合車の割合 15%。最新規制適合車への代替が進んでいる。

2. 車種規制の実施等

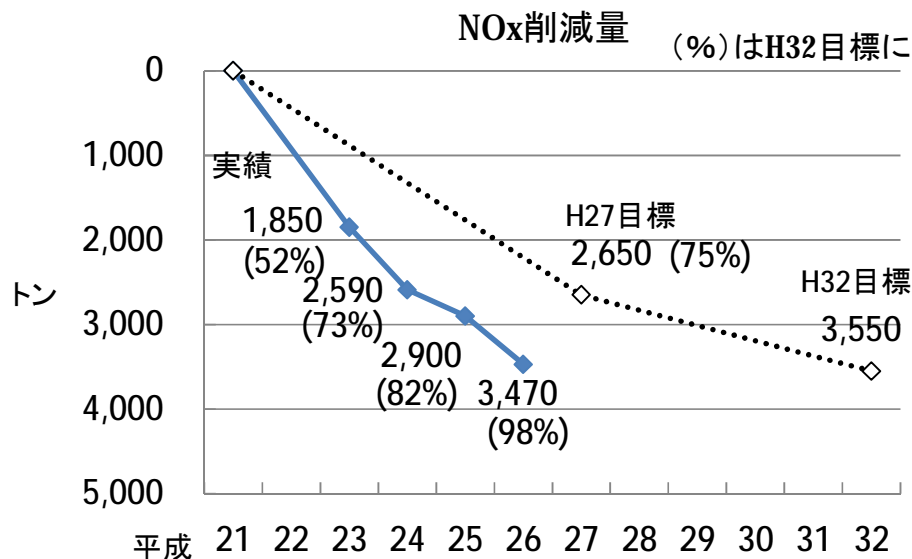
- ・ 法に基づく車種規制の実施（環境省、国土交通省）
- ・ 条例に基づく流入車規制の推進（府：ステッカー交付、立入検査、使用命令・氏名等の公表）

対策地域外から流入する非適合車の割合 H26:0.8%(H19:17%)。流入車規制の効果が現れている。

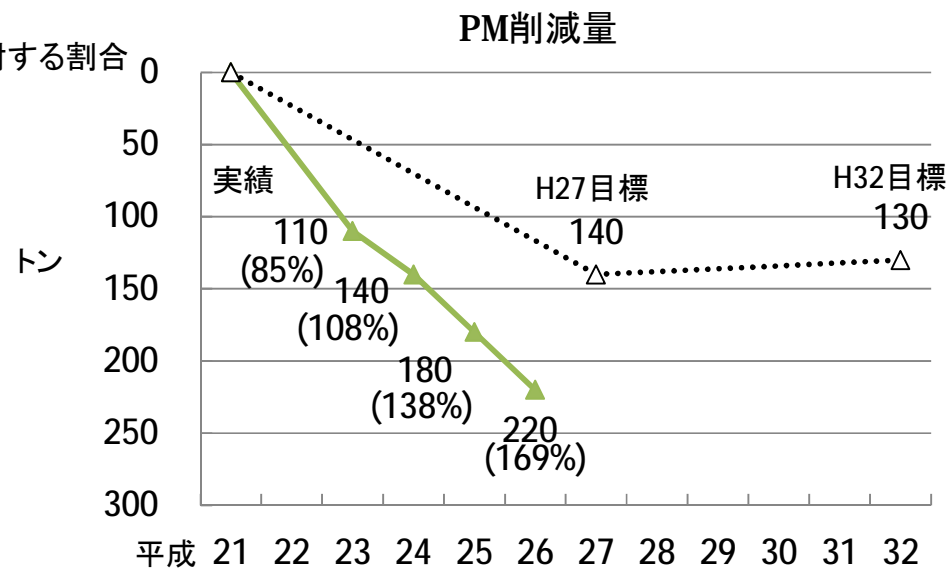
1. 自動車単体規制の推進、2. 車種規制の実施等

■ 対策によるNOx・PM削減量

平成27年度目標を達成



平成27年度目標を達成



<H27:140 t → H32:130 t となる要因>
 ・最新規制適合車からエコカーに代替することにより、効果がエコカーに移る。
 *エコカーの普及による効果と合わせると、H27:160 t → H32:210 t となる。

■ 対策効果の指標

○ 普通貨物車の新長期規制以上の割合

【指標】平成27年度 49%
 平成32年度 65%

【実績】平成25年度 42%
 平成26年度 47%
 (参考)平成21年度 27%

平成27年度指標に向け着実に進展

3. エコカーの普及促進、4. エコドライブの推進

■ 平成26年度における実施状況

3. エコカーの普及促進

- ・官民協働による導入促進

（大阪エコカー協働普及サポートネット：H26 展示・試乗会2回）

- ・自動車使用管理計画書等による指導・取組促進（近畿運輸局・府）

- ・トラック等の導入補助（近畿運輸局：H26 トラック208台、バス3台）

- ・次世代自動車充電インフラ設置に係るビジョン策定

（府：ビジョン対象箇所数 600箇所）

4. エコドライブの推進 ※NO_x・PM削減量未算定

- ・エコドライブ講習会の実施 12団体

（府、大阪市、堺市、大阪自動車環境対策推進会議等）

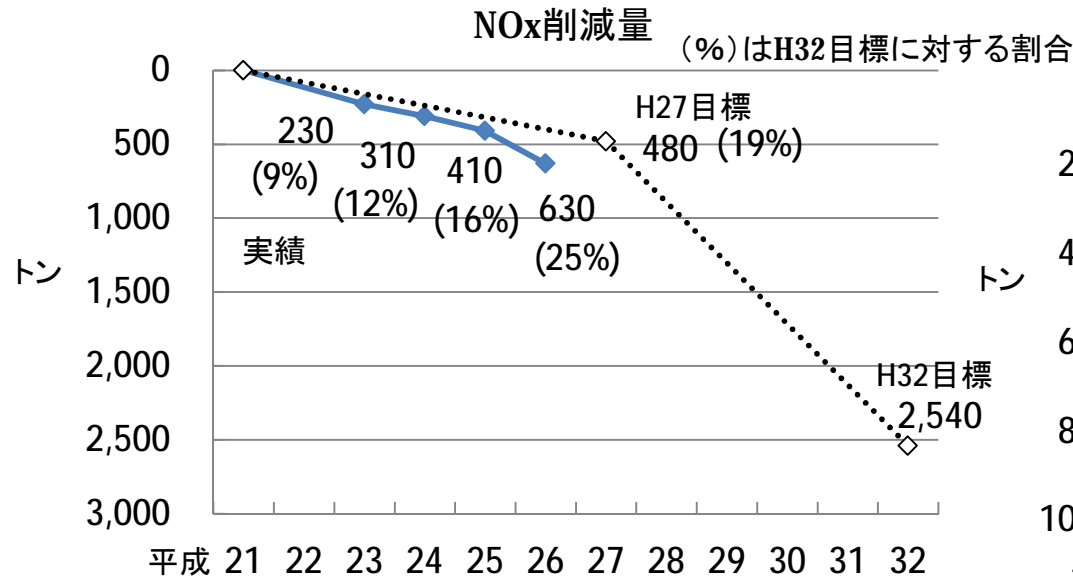
- ・アイドリングストップ看板の掲示・設置指導、ちらし配布（府、岸和田市等）

- ・乗合バス起終点でのアイドリングストップ励行指導（高槻市）

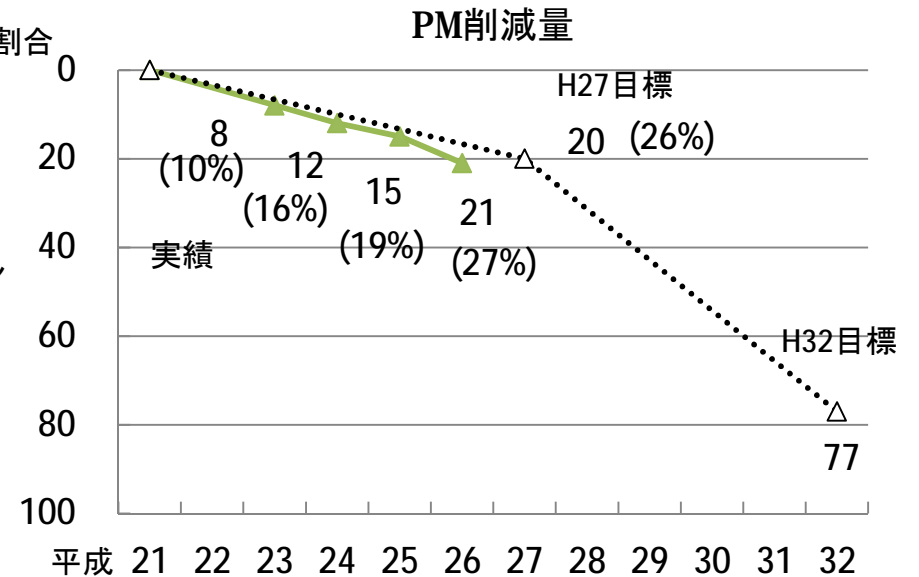
3. エコカーの普及促進

■ 対策によるNOx・PM削減量

平成27年度目標を達成



平成27年度目標を達成



■ 対策効果の指標

○平成32年度までにエコカーを2台に1台

【指標】平成27年度 69万台 (20%)
平成32年度 179.5万台 (50%)

平成27年度指標を達成

【実績】平成25年度 71万台 (20%)
平成26年度 84万台 (24%)
(参考)平成21年度 18万台 (5%)

5. 交通需要の調整・低減

■ 平成26年度における実施状況

○公共交通機関の利便性の向上

- ・おおさか東線(新大阪～久宝寺)整備中 (大阪外環状鉄道(株))
H30末全線開業予定 ※H20.3 放出～久宝寺間 開業済
- ・バスロケーションシステムの整備(大阪市:H26 686基)
- ・駅前広場整備
H26:JR津田駅、JR八尾駅、JR東佐野駅完了、12箇所整備中

○エコ通勤の促進

- ・エコ通勤優良事業所認証制度
(近畿運輸局:認証取得H26年度末 110事業所)

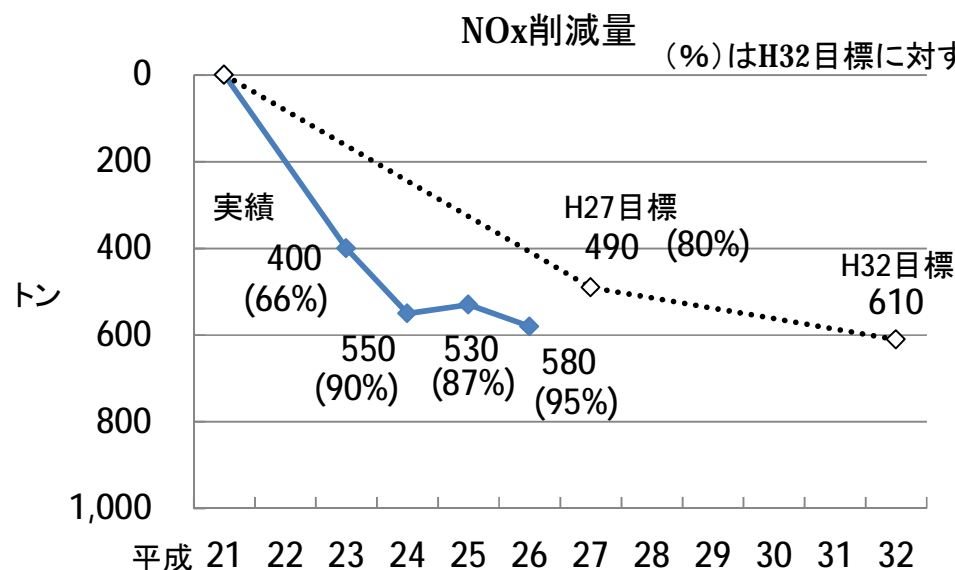
○歩行者・自転車利用の利便性の向上

- ・自転車歩行者道の整備(近畿地方整備局等)
H26:北巢本町(門真市)完了、国道1、25号他整備中
- ・横断歩道橋の整備
国道25号「杭全交差点」(近畿地方整備局) (H26.10完了)

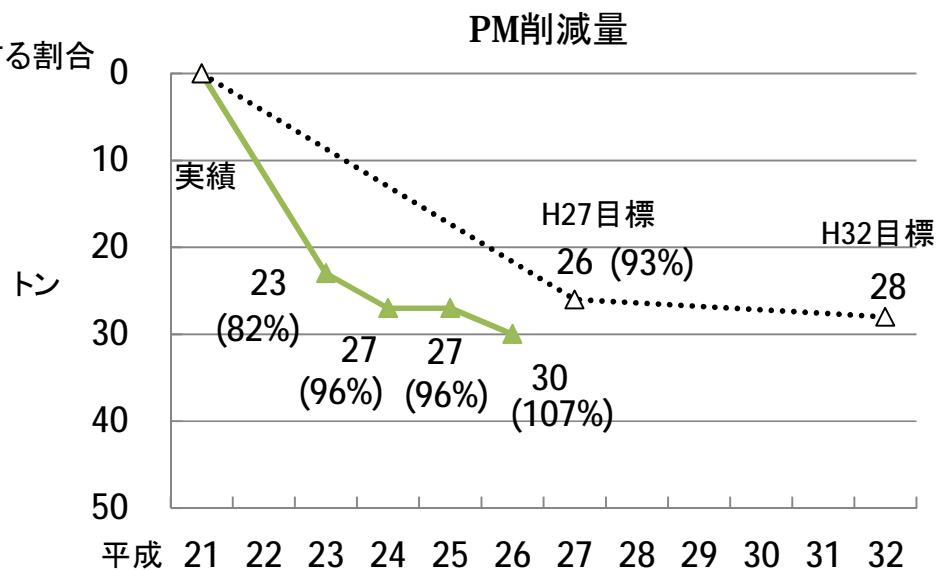
5. 交通需要の調整・低減

■ 対策によるNOx・PM削減量

平成27年度目標を達成



平成27年度目標を達成



■ 対策効果の指標

○平成21年度の自動車走行量から

【指標】平成27年度 3%削減
(27,750百万台km)
平成32年度 4%削減
(27,560百万台km)

平成27年度指標を達成

【実績】平成25年度 3.4%減少
(27,660百万台km)
平成26年度 4.2%減少
(27,420百万台km)
(参考)平成21年度 28,620百万台km

6. 交通流対策

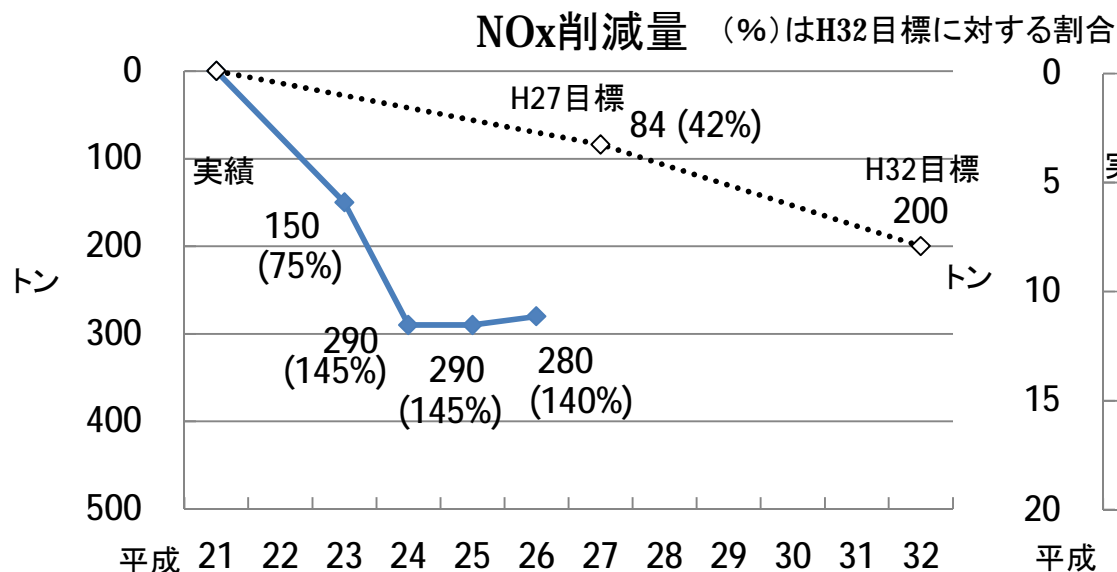
■ 平成26年度における実施状況

- ・高速道路の整備(西日本高速道路(株)、阪神高速道路(株)、府、関係市)
 - 新名神高速道路(高槻～神戸) H30完成予定
 - 阪神高速淀川左岸線 2期(此花区高見～北区豊崎) H32完成予定
 - 阪神高速大和川線 H31完成予定
- ・バイパスの整備(近畿地方整備局、府等:32箇所整備中)
 - H26完了:市道桜井石橋線(箕面市)、西中条奈良線(茨木市)
 - 整備中:国道26号(第二阪和国道・和歌山岬道路)、国道163号(清滝生駒道路)、国道480号(鍋谷峠道路)、国道480号(父鬼バイパス)他
- ・連続立体交差事業(近畿運輸局、府等:7箇所整備中)
 - 近鉄奈良線、阪急京都線・千里線、南海本線、南海本線・高師浜線
- ・右左折レーン整備(近畿地方整備局、府等:7箇所整備中)
 - 国道171号京口町地区交差点、府道八尾枚方線河内中野南交差点他整備中
- ・環境ロードプライシング(5号湾岸線)(阪神高速道路(株))

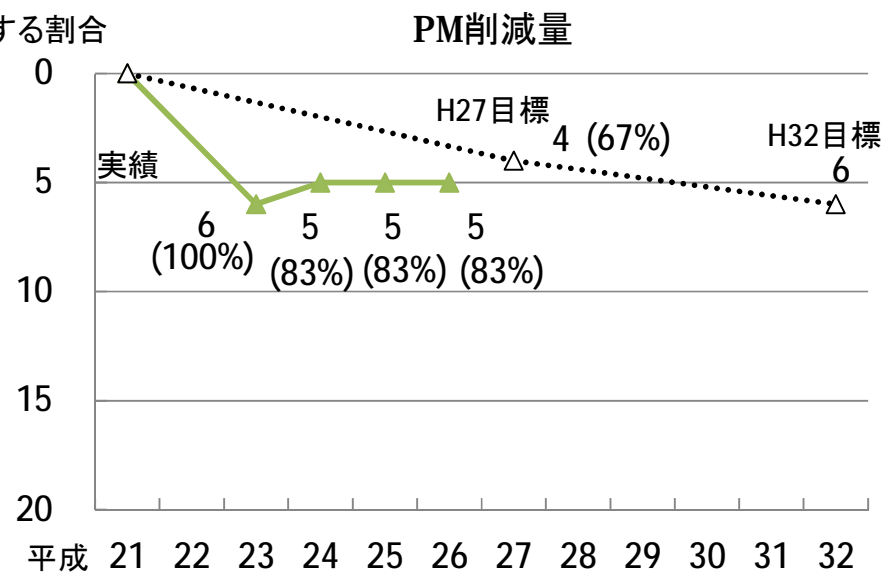
6. 交通流対策

■ 対策によるNOx・PM削減量

平成27年度目標を達成



平成27年度目標を達成



■ 対策効果の指標

○平成21年度の平均旅行速度から
**【指標】平成27年度 1.5 km/h上昇
 (39.9km/h)**
**平成32年度 3.0 km/h上昇
 (41.4km/h)**

平成27年度指標を達成

**【実績】平成25年度 2.7 km/h上昇
 (41.1km/h)**
**平成26年度 2.8 km/h上昇
 (41.2km/h)**
(参考)平成21年度 38.4km/h

7. 普及啓発活動

■ 平成26年度における実施状況 ※NO_x・PM削減量未算定

- ・「国道43号・阪神高速神戸線における大気環境改善に向けた交通需要軽減キャンペーン」(近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速道路(株))
- ・メールマガジン「おおさか自動車環境ニュース」の配信
(H26 15回、登録者数1,658人)
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/mailmaga/>
- ・ホームページを通じた自動車環境情報の発信(府等)
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/>
- ・環境に配慮した自動車利用を促進するおおさか交通エコチャレンジ推進運動
(大阪自動車環境対策推進会議)
http://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/eco_challenge.html

計画の進行管理

■ 平成26年度における実施状況

- ・二酸化窒素高濃度予測地点における環境の状況把握

H26 交通量・濃度推計調査2地点

国道308号:高井田西六丁目東交差点(大阪府東大阪市)

国道43号:弁天町駅前交差点(大阪府大阪市港区)

H26 簡易測定8地点

大阪中央環状線:下穂積2丁目交差点(茨木市)、奈良交差点(茨木市)、
鳥飼和道交差点(摂津市)

国道1号:京阪本通1丁目交差点(守口市)

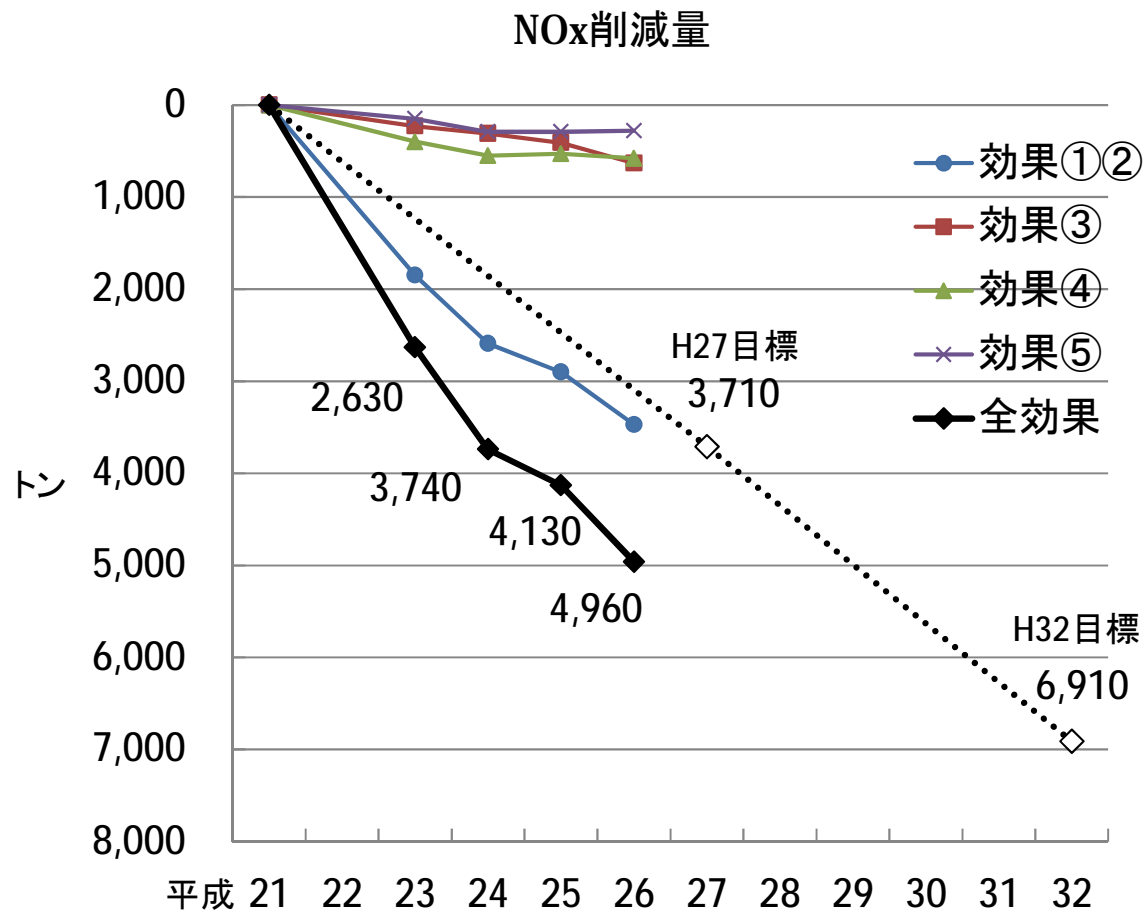
国道43号:大和田西交差点(大阪市西淀川区)、弁天町駅前交差点(大阪市港区)

国道25号:杭全交差点(大阪市東住吉区)

国道308号:高井田西六丁目東交差点(東大阪市)

対策全体のNOx削減量

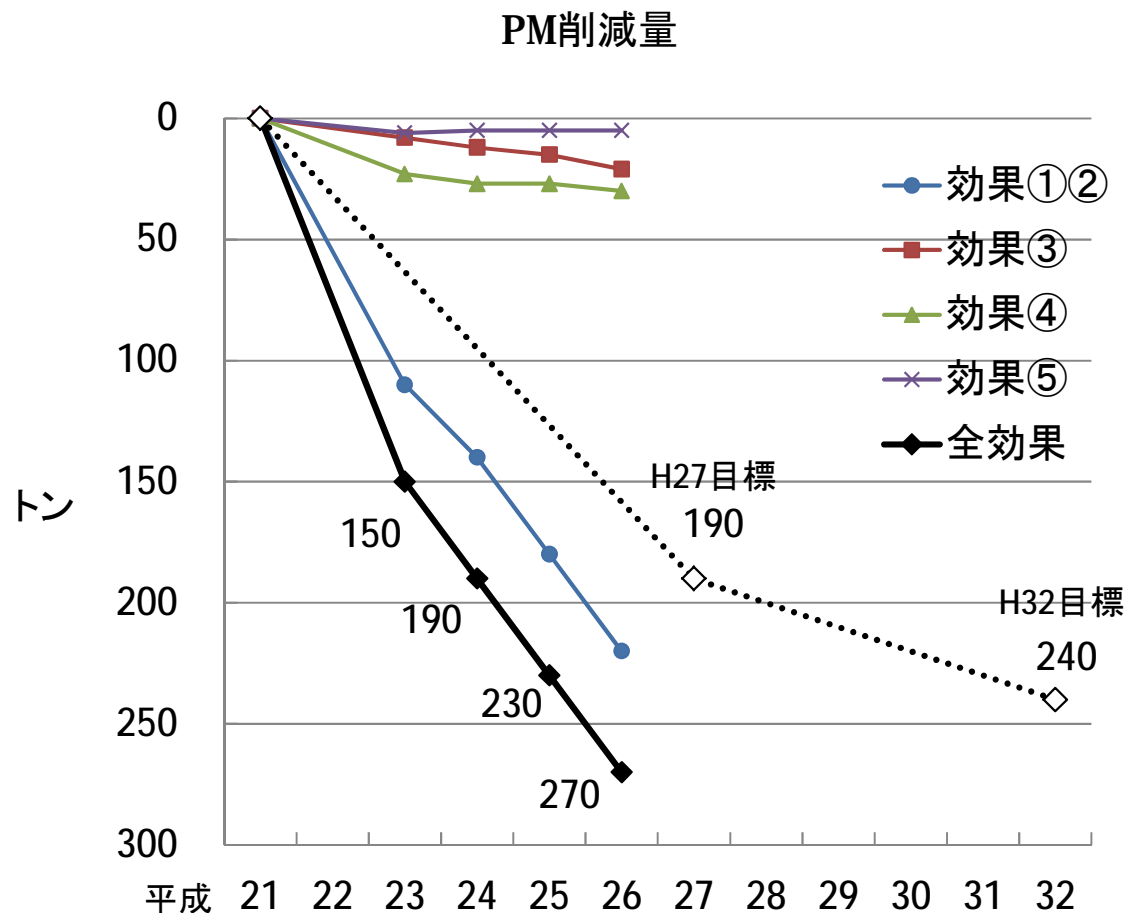
平成27年度目標を達成



- 効果①、②:自動車単体規制の推進、車種規制の実施等による削減量
- 効果③ :エコカーの普及促進による削減量
- 効果④ :交通需要の調整・低減による削減量
- 効果⑤ :交通流対策による削減量
- 全効果 :全体の削減量

対策全体のPM削減量

平成27年度目標を達成



- 効果①、②:自動車単体規制の推進、車種規制の実施等による削減量
- 効果③ :エコカーの普及促進による削減量
- 効果④ :交通需要の調整・低減による削減量
- 効果⑤ :交通流対策による削減量
- 全効果 :全体の削減量

<参考> 対策によるNO_x・PM削減量の算定方法の概要

■H21年度からH26年度までのNO_x・PM削減量

全体の削減量 [H21排出量] - [H26排出量]

■各対策によるNO_x・PM削減量 ※4、7は削減量未算定

「全体の削減量」を下記の対策の削減量に割り振り

1～3による削減量
(単体規制・車種規制等・
エコカー普及)

H21→H26の排出係数の減少による排出量の削減量
ただし、「3:エコカー分」と「1、2:エコカー以外」分に分けて算定
※自動車走行量、旅行速度はH26で固定

5による削減量
(交通需要調整・低減)

H21→H26の自動車走行量の減少による排出量の削減量
※排出係数式、旅行速度はH26で固定

6による削減量
(交通流対策)

H21→H26の旅行速度の上昇による排出量の削減量
※排出係数式、自動車走行量はH26で固定

<参考>

[排出量] = [車種別排出係数(g/台・km)] × [自動車走行量(台・km)]

↑
「車種別排出係数式」に[旅行速度(km/h)]を入力して算定